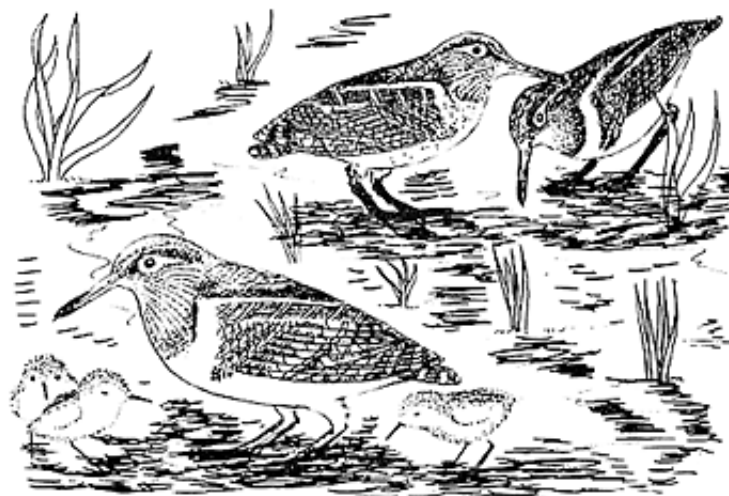




■ 6 . タマシギ - 一妻多夫の社会 -



タ マ シ ギ

鳥の世界では、どちらかといえば雄鳥は雌鳥に比べ、色彩が豊かで、かつ大型である。しかし、なかにはここに紹介する[タマシギ](#)のように、雌鳥のほうが目立つ種類もある。

しかもこの鳥は、雌優位の一妻多夫型の珍しい繁殖習性をもつ。

ハトよりひとまわり小さく、湿地の草むらに棲む。地味な色彩と純重な性質に加えて、夜行性が強いので、目立たない。

初夏の夕方、大きな声で鳴くので、その鳴き声を頼りに探すのがよい。

目のまわりの曲玉のような白いふちどりから[タマシギ](#)の名がついた。